

サクランボ特報

No.1

令和2年3月2日
JA中野市営農センター
JA中野市サクランボ部会

本年は積雪量が少なく、記録的な暖冬傾向が続いているため、現時点では生育が平年よりも大幅に早まると予想されます。気象情報に十分注意し、生育状況をよく確認して早めの防除に努めましょう。

(平岡)

佐藤錦	平年	R2	R1	H30	H29	H28	H27
発芽日	4/5	3/25?	4/6	4/1	4/7	4/1	4/2

＊発芽前の防除

散布時期：発芽前（3月中旬～中下旬）

散布薬剤 水 98ℓ 当り

スプレーオイル 2ℓ

＊ウメシロカイガラムシ多発園は、アプロードフロアブルの1,000倍（7日前、2回）を加用する。

対象病害虫：カイガラムシ類、ハダニ類

散布量：10a当り 300ℓ

散布日 月 日

散布量 ℓ

＊胴枯病対策：発芽前に、石灰硫黄合剤の10倍を単用散布する。

石灰硫黄合剤は、隣接する園地やハウスビニールにかからないよう注意する。
また、他の薬剤と混用せず、単用散布とする。

＊胴枯病の枝は切り取り焼却する。部分的な場合は削り取り、トップジンMペーストを塗布する。

＊コスカシバ対策 薬剤散布による防除を行なう場合は、下記のいずれかを実施する。

- ①発芽前に（農）ラビキラー乳剤200倍（発芽前、1回）を樹幹部および主枝に散布する。
- ②開花期までに、フェニックスフロアブルの500倍（開花期まで、1回）を樹幹部および主枝に散布する。（10a当り散布量目安5～40ℓ）

＊凍害対策 本年も、昨年と同様に生育が早まると予想されます。

3月中旬～下旬の花芽が膨らみ始めた頃から開花期まで、低温遭遇時（-3℃以下）の花器障害が心配されますので、園内の保温（燃焼資材デュラフレームの利用、加温設備のある園地では加温機の使用等）により対策を講じて下さい。

次回特報発行予定日：4月初旬

内容：開花前の薬剤散布 他